学校番号	１０１５

令和２年度　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	7　実教　福祉 301「　社会福祉基礎　」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇社会福祉に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・社会的に弱い人々（高齢者・障がい者・子ども）も尊厳ある存在であることを理解しましょう。

・「ふつうに　くらせる　しあわせ」の意味を考えましょう。

・生活の様々な現象や課題について考え、理解を深め知識を身に付けましょう。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付け
ましょう。

2　学習の到達目標

1　社会福祉に関する基礎的な知識と技術を習得し、社会構造の変容やライフスタイルの変化が社会福祉の進展にどのような影響を及ぼしているか考える力を身に付ける。

2　現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解し、社会福祉の基本的な見方や考える力を身に付ける。

3　対人援助のあり方や社会福祉制度の基礎的な理解のもと、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付ける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	社会福祉に対する関心を高め、福祉社会が抱える課題に意欲を持って目を向けるとともに、社会福祉の向上を図る創造的、実践的な態度を身に付けている。	社会構造の変容、ライフスタイルの変化がどのように社会福祉の進展に影響し、そこから派生する諸課題の解決に向け、創意あふれる考えを導き出し表現する能力を身に付けている。	社会構造の変容及びライフスタイルの変化と社会福祉の理念について資料、情報を適切に活用し、調査研究の場で的確にまとめる技術を身に付けている。	自立生活支援や社会福祉の考え方を把握し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに現代社会と社会福祉の関連性、社会福祉の理念と意義・役割を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・ワークシートの記述 ・学習ノート ・小テスト	・学習状況の観察 ・ワークシートの記述 ・学習ノート ・小テスト	・学習状況の観察 ・ワークシートの記述 ・実習レポート、 ・定期考査	・学習状況の観察 ・ワークシートの記述 ・学習ノート ・小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期前半	高齢社会を生きる	○社会福祉の理念と意義 ・生活と福祉 少子高齢化と人口減少社会の到来 ・高齢者について 高齢者とは 身体的精神的な変化 「手紙～親愛なる子どもたちへ～」	○	○	○	○	a. 社会福祉の理念について関心を高め、高齢者の現状と課題を意欲的に追求する態度を身に付けている。 b. 社会構造の変容、ライフスタイルの多様化に影響を受ける社会福祉の諸課題に向き合い、解決に向け適切に考え判断し、表現する能力を身に付けている。また、高齢者の現状と課題に向き合うことで的確に考察し、表現する能力を身に付けている。 c. 社会構造の変容及びライフスタイルの変化と社会福祉の関わり、社会福祉の理念について資料・情報を適切に活用する技術を身に付けている。 d. 社会福祉の考え方を把握し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに社会福祉の理念と意義・役割を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
前期後半		○障がい者福祉 ・障がいの種類 ・障がい者とは ○補助犬について ・視覚障がい者の誘導の仕方Ⅰ（実習） ○パラリンピックについて ・パラリピアン・盲導犬ユーザーのお話 視聴覚教材「クイール」 ○発達障がいについて 視聴覚教材「君が僕の息子について教えてくれたこと」	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a. 障がい者の現状と課題を意欲的に追求する態度を身に付けている。 b. 障がい者の現状と課題に向き合うことでそれらを的確に考察し表現する能力を身に付けている。 c. 社会福祉の各分野に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、的確にまとめる技術を身に付けている。 d. 生活を支える社会保障制度の概要に関する基礎的な知識を身に付け、各施策の意義・役割を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査

後期前半		○認知症について ・認知症とは ・認知症の種類と特徴 ・認知症のサポートの仕方 ・認知症サポーター養成事業受講	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a. 認知症とその家族の現状と課題を意欲的に追求する態度を身に付けている。 b. 認知症とその家族の現状と課題に向き合うことで的確に考察し、表現する能力を身に付けている。 c. 認知症のサポートに関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、的確にまとめる技術を身に付けている。 d. 認知症とその家族の生活を支える社会保障制度の概要に関する基礎的な知識を身に付け、各施策の意義・役割を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
後期後半		○諸外国における社会福祉 ・イギリス ・アメリカ ・スウエーデン ・日本	○	○		○	a. 諸外国及び日本の社会福祉の歴史に対して関心を持ち、社会福祉の歴史的経緯について意欲的に追求する態度を身に付けている。 b. 諸外国及び日本の社会福祉の歴史的経緯について思考を深め、それぞれの時代が担った意義・役割を適切に表現する創造的な能力を身に付けている。 c. 社会福祉の歴史に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、的確にまとめる技術を身に付けている。 d. 諸外国及び日本の社会福祉の歴史について基礎的な知識を身に付け、各時代が担った意義・役割を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。